

1. 財団委員会新旧引き継ぎ会開催の件

過ぎてみれば、保延年度も年度末を迎え、題記会議を 6 月 16 日に、保延 G 及び高橋 GE の御出席も頂き、水戸三の丸ホテルで開催致しました。今年度は、埴ポリオ・プラス委員長、大津資金管理委員長、野間資金推進委員長が、御退任に成ります。3 年に亘る御勤めと後輩の育成に御尽力頂き、心より御礼申し上げる次第です。

各委員会の引継ぎに於いては、出前卓話の在り方や補助金委員会の御理解を深めて頂く為の「My Rotary」の活用の仕方、地区補助金の活用の仕方を分かり易くするための提言など、活発な議論が交わされ、いずれも来る高橋年度の財団研究会に於いて、御説明させて頂く予定です。



財団委員会では、3 年任期の内、初年度は配属委員会の理解、2 年目に担当委員会業務の主担当 3 年目に、主担当委員のバック・アップとしてローテーションして居ります。このサイクルの中で、新しい発想が提言されて居り、クラブの財団委員長の御理解と御協力を得て、改善に取り組みたいと思っております。宜しくお願い致します。

2. 補助金の動向

1) 地区補助金関係

- ① 保延年度の地区補助金 DG1846279(使用限度額=\$83,438) の報告書の取り纏めに参加クラブ 54 クラブの御理解と御協力により、6 月 18 日に提出を完了する事が出来ました。
- ② また、高橋年度の地区補助金 DG1966110 (使用限度額=\$81,882) の申請書作成も参加 52 クラブの御協力を得、6 月 7 日に提出され、同 23 日に承認されました。

昨年の反省を踏まえ、前倒しの期限設定に御協力頂き御礼申し上げます。この結果、高橋年度の活動期間が十分に確保されることを期待して居ります。

2) グローバル補助金関係

- ① 芝田共宏氏のシカゴ大学進学用奨学金 GG1875938 で、当初シカゴ RC より早々に、ホスト・クラブとしての御連絡を頂いて居りましたが、都合により Little Village RC に変更との御連絡を年度末間際に頂き、驚きでしたが、RI 関係者の御尽力により、6 月 27 日付にて承認の連絡を入手しました。
- ② 貴山楓子氏のタフツ大学奨学金 GG1873598 も無事承認を受け、当年度 2 名、累計 5 名の奨学生を派遣できることに成りました。
- ③ 兼ねてから、「仙台防災教育」を模範にしたネパールにおける、防災教育教科書(教師用)の提案をしていましたが、RI 関係者の理解を得る事が出来、6 月 22 日に提出と成りました。本件は、RI 関係者の理解を得る為に提案クラブでもある下館 RC が、関係者と度重なる相談の末、申請承認を頂いたものであり、大変意義深いプロジェクトであると感じています。関係者の御苦勞に感謝します。
- ④ インドネシアとの VIT であります、GG1750780 は、申請書の内容一部見直し及び相手側ロータリークラブの都合により提出前の承認に至っておらず、初めてのグローバル補助金の展開でもあり、提案クラブの水戸西 RC とともに連携し慎重に進めたいと考えて居ります。

3. 「地域調査」について

御承知かと思いますが、2018 年 7 月 1 日より、グローバル補助金の人道的プロジェクト又は職業研修チームを支援する為の全てのクラブと地区は、「地域調査」を実施し、その「結果」を申請書に含める事が必須と成ります。本件に関わる詳細は、「MY ROTARY」の「ロータリー財団」⇒「グローバル補助金」⇒「申請書提出にあたってのヒント」7 行目～8 行目に詳細が記述されて居ります。

4. 野生株によるポリオ症例数

国	2018-1/1 ～6/19	2017	2016
パキスタン	3	8	20
アフガニスタン	8	14	13
ナイジェリア	0	0	4
赤道ギニア	0	0	0
合計	11	22	37



第 2820 地区
財団ニュース 6月号



2018年6月30日発行
財団総括委員長 藤居 彰一